

## 会 議 録

### 1 会議名

令和5年度 第6回和田区地域協議会

### 2 議題（公開・非公開の別）

（1）自主的審議事項「上越妙高駅周辺の整備、活性化について」（公開）

### 3 開催日時

令和5年11月15日（水） 午後6時30分から午後7時10分まで

### 4 開催場所

ラーバンセンター 第4研修室

### 5 傍聴人の数

1人

### 6 非公開の理由

—

### 7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・委員：有坂正一（会長）、宮崎雅彦（副会長）、片田和夫、草間雄一、佐藤勝雄、篠原精子、高橋武弘、平原留美、横田英昭（欠席5人）
- ・事務局：南部まちづくりセンター 大島所長、滝澤副所長、石黒係長、難波主任

### 8 発言の内容

#### 【石黒係長】

- ・植木委員、金子委員、佐藤力委員、清水委員、山岸委員を除く9人の出席があり、上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。
- ・同条例第8条第1項の規定により、議長は会長が務めることを報告。

#### 【有坂会長】

- ・会議録の確認：篠原委員に依頼  
次第2「議題等の確認」について、事務局に説明を求める。

#### 【滝澤副所長】

- ・配布資料の確認

- ・次第に基づき、議題の確認

【有坂会長】

- ・「議題等の確認」について質疑等を求めるがなし。

— 次第3 議題（1）自主的審議事項「上越妙高駅周辺の整備、活性化について」—

【有坂会長】

次第3 議題（1）自主的審議事項「上越妙高駅周辺の整備、活性化について」に入る。

前回の協議会では、駅周辺の活性化に向けた取り組みを意見書、地域独自の予算、協議会実施の区分で決定した。そのうち意見書について、正副会長と事務局で素案を作成したので意見をいただきたい。

地域独自の予算については、釜蓋遺跡応援団の既存事業での活用を想定しているため、団体との協議は予定していない。来年夏に団体から令和7年度に向けた事業のエントリーをしていただく予定である。

地域協議会が実施する取組として、応援団のイベント広報や団員の募集支援については、10月25日発行の和田区地域協議会だよりで秋祭りのPRと団員募集の記事を掲載したところである。

では、意見書の素案について事務局から説明を求める。

【石黒係長】

- ・当日配布資料No.1により説明

前回の協議会での委員から質問があった事項について、担当課に確認したので報告する。

1点目、「小・中学校による釜蓋遺跡の見学の際に、市のマイクロバスを利用することは可能か」という質問について、利用できることを確認した。

2点目、「小・中学校による見学時の児童・生徒のバス送迎について、文化行政課に予算はあるか」という質問については、今年度予算において無いこと、来年度も予定していないことを確認した。

**【有坂会長】**

・ただ今の説明について、質問のある委員の発言を求める。

**【平原委員】**

前回も出席していないもので、もう一度教えていただきたい。今ほどの説明で、小・中学校の見学時に市のマイクロバスを利用できるということだったが、これは市内の小・中学校に限って利用できるのか、それとも、市外の小・中学校も利用できるのか。

もう一つ、文化行政課に予算がないとは、何についての予算がないのか。

**【石黒係長】**

1点目については、基本的には市内の小・中学校になるかと思うが、バスを利用する際は担当課が予約を入れるので担当課の判断になる。担当課が市外の小・中学校も見学を積極的に受け入れようというのであれば、手配すると考えられる。

2点目の小・中学校の送迎の予算とは、市のマイクロバスではなく、例えば、民間のバスを手配する場合の費用負担にかかる予算である。

**【平原委員】**

市内の小・中学校の場合、学校単位で釜蓋遺跡ガイダンスを見学したい時には、学校側で予算が組まれていれば独自に行くという認識でよろしいか。

**【石黒係長】**

そのとおりだと思う。学校行事の計画の中でどのように予算を配分するかということである。

**【有坂会長】**

市が所有しているマイクロバスは何人乗りが何台ぐらいあるのか。

**【石黒係長】**

一番大きいタイプだと33人乗りが3台程度あったかと思う。大きい学校の場合は何台かを組み合わせるようになるので、相当前からでないと手配は難しい状況ではある。

**【佐藤勝雄委員】**

意見書案は納得がいく内容になっていると思う。小・中学校の見学時の送迎費用

も再来年以降、少しでも助成できるように協力していただければありがたいと思うが、いかがなものか。

**【石黒係長】**

マイクロバスの費用の助成については、意見書で触れていないので何とも言えない。

**【片田委員】**

今まで学校単位で、例えば、クラス単位の団体で見学に来たことがあるのか。

**【石黒係長】**

近隣の大和小学校、和田小学校、黒田小学校を中心に見学に訪れており、恐らく学年単位だと思う。

**【横田委員】**

この意見書でよいと思う。今バスの話になっているが、例えば、浦川原区の学校は電車であればよいのではないか。遺跡だけを見るのではなく、電車を乗り継いで上越妙高駅を見てから遺跡に行くような、そのような形もあるのではないか。

**【有坂会長】**

浦川原区の場合は使えるかもしれないが使えない区もある。一つの考えとしてはよいと思う。

**【高橋委員】**

前回聞いた内容とほぼ合致しているので、意見書について特に意見はない。

**【草間委員】**

特に意見はない。

**【篠原委員】**

今、マイクロバスの件が出たが、項目1にマイクロバスについて盛り込むことはできないか。

**【有坂会長】**

マイクロバスがあるということは小・中学校の先生方は承知されていて、盛り込む必要はないように思う。これを盛り込むことについては意見として伺っておく。

**【宮崎副会長】**

先週の正副会長会議の際、この意見書案でよいとしたが、ある市議会議員の議会報告に新たな価値を創造するプロジェクトというものがあり、その一つとして上越妙高駅西口釜蓋遺跡表土を利用した大規模薬草園の展開、ヨモギ等をはじめ、上越各地での園芸農業の振興・ブランディングというものがあつた。実際にその議員にお会いしてどのような内容か話を聞いたところ、上越妙高駅前を釜蓋遺跡公園としてずっと芝生のままにしておくのはもったいないということで、活用を考えたいという話であつた。上越地域はとても薬草を育てやすい土地だそうである。大体地下40センチ以内は利用してよい場所らしい。40センチ下に遺跡があるかどうかは、機械を使って調査すればわかるので、その調査を実施し、例えば、花の植栽や薬草園として活用することを検討してほしいと意見書に1項目付け加えたいと思っている。他にも追加提案したいものがあれば提案いただいて、それを事務局と正副会長で検討し、次回の協議会に間に合わせたらよいのではないかと提案だが、皆さんの意見を伺いたい。

**【有坂会長】**

今の提案について、実際やるかやらないかは別にして、意見や質問はあるか。

**【佐藤勝雄委員】**

私も政治活動報告書を読んだ。よい案だとは思つたが、ヨモギを植えた後の維持管理をどのように行うのか。地域おこし協力隊を招へいして面倒を見るのか。少し煮詰めないと問題があるかと思う。

**【篠原委員】**

マリーゴールドを原料にした新しい製品が開発されたと聞いた。マリーゴールドであれば作りやすいのではないか。

**【宮崎副会長】**

何もしないでこのままにしておくのはもったいないという主旨で提案した。薬草でなく花でも収益が上がるかもしれない。そうすれば市も潤ってくるので、そのような提案を盛り込んだほうがよいと思う。皆さんからも提案をいただきながら、他にもよいものがあれば付け加えたほうがよいのではないかと思う。

**【横田委員】**

宮崎副会長の提案は大変よいと思ったが、国の指定の遺跡で発掘調査を行うとなった場合、市がやるのか国がやるのかさえわかっていない。遺跡が出るとその土地は構えなくなる上に、調査の見通しもわからない。その辺がわかるとよい。

【有坂会長】

発掘調査はいつ頃再開するのか聞きたいということによろしいか。

【横田委員】

いつ頃か。市あるいは国がやるのか。お金のかかる話である。

【宮崎副会長】

多分、調査はもう大体終わっている。

【有坂会長】

まだ終わってないのではないか。

【石黒係長】

終わっていないと思う。

【宮崎副会長】

地下40センチまでの範囲で固定物でなければ利用してよく、植栽してもよいと聞いている。深さ40センチまでの範囲であれば、遺跡に影響を与えない。

【石黒係長】

以前、植栽の件で文化行政課に確認した際、そこまでの深さとは聞いていない。原則耕さずに根の深さでも10センチ程度までと聞いた。

【宮崎副会長】

そこは再度、確認願う。

【有坂会長】

10センチだと非常に厳しいかもしれない。その中で収まる草花があるかどうかもある。

それより、発掘調査を進めるほうが地域のためになると考える。昔、発掘調査によそから人が集まってきて手伝うというようなブームがあった。そういった人達をどんどん呼び込むことによって、上越妙高駅の近辺、市が潤うことが期待できるのではないか。発掘調査をどんどん進めてもらえるよう取り組んでもらいたい。

**【草間委員】**

私は、元々は芝ザクラを植えたかどうかとを考えていた。その気になれば40センチぐらいの土を盛ると思う。

道路工事などで遺物が出土した場合と違って、田んぼの場所を直ちに調査するのは考えにくく、遺跡調査の再開は相当先のことになるのではないかと。調査が終わったとして薬草を植えるとなると、草刈りが大変になるので一番簡単なのは芝ザクラかと思う。綺麗に咲いてくれれば見栄えもよくなる。

**【宮崎副会長】**

要は、このままにしておくのはもったいないから何かしてほしいと付け加えたいという主旨で提案したまでである。具体的に何をするかは、市が研究すればよい。土地の活用について1項目追加して次回、修正案をお示ししたい。

**【平原委員】**

利用が可能な場所に花や薬草を植えることは夢があり、そのような景色が広がれば綺麗だと思うが、これまでの協議を踏まえて具体的に考えると、土地の所有権はどうだったかとか、実施団体、管理ができる団体などがすぐに見つかるかといった課題があるように思う。ただ、何もしないままになると未来の明るい展望が見えないので、何かできるかもしれないという要素を持ちつつ、いろいろなアイデアを集める、小・中学校による見学の誘致はとても有効かと思う。

できれば、釜蓋遺跡ガイダンスがどのような状況になっているか、発掘調査の状況や今後の見通しといった情報がわかりやすく公開されるといろいろなことを考えやすくなるのではないかと。

**【有坂会長】**

他に意見を求めるがなし。

皆さんからいただいた意見を踏まえて次回、修正案をお示ししたい。本日欠席された方についても本日の素案を送付して意見を伺い、それらもあわせて、来月の協議会で修正案として提出したい。それで最終決定になるのではないかと考えている。

以上で次第3 議題（1）地域活性化の方向性についてを終了する。

— 次第4 事務連絡 —

【有坂会長】

次第4 事務連絡に入る。

事務局より説明を求める。

【滝澤副所長】

- ・今後の地域協議会の日程連絡

令和5年度 第7回地域協議会：12月20日（水）18：30から

第8回地域協議会：1月24日（水）18：30から

会場：ラーバンセンター第4研修室

- ・その他配布物

八千浦区、保倉区、吉川区の地域協議会の「地域活性化の方向性」

男女共同参画推進センター講座チラシ2種類

NPO 法人上越地域学校教育支援センターの広報紙

【有坂会長】

- ・ただ今の説明について質問を求めるがなし
- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

総合政策部 地域政策課 南部まちづくりセンター

TEL : 025-522-8831 (直通)

E-mail : nanbu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせて御覧ください。